

基礎基本の定着をめざして ～D3クラブがスタート～

進研ゼミや模擬試験を実施しているベネッセは、高校生の学力を診断するために、「学習到達ゾーン（GTZ）」という指標を設定しています。

GTZは、「進路マップ」、「基礎力診断テスト」等の成績を、S1を最高レベル（基礎力診断テストは、A2が最高レベル）として、D3までのゾーンで示し、各レベルでの進路選択の大まかな目安や大学への合格可能性が示されています。

Cゾーンまで上昇すれば、進路の可能性が大きく開けると言われています。また、D3に該当する生徒については、義務教育段階の学習内容が十分身につけていないと言われています。

氷上西高校では、ベネッセの「進路マップ」を4月、9月、1月の年間3回受験します。

平成30年度から新たに、「進路マップ」の成績がGTZのD3の生徒に対して、学習意欲の向上と進路実現に必要な学力の充実をめざした補習、「D3クラブ」を開始しました。D3クラブでは、生徒がそれぞれ自分の理解できていないところを発見し、それを教師がいて個別に指導する形で学習を進めます。進路実現に向けてD3脱出をめざします。

（校長 高橋信之）

ベネッセが示す学習到達ゾーン（GTZ）と進路選択肢の目安

学習到達ゾーン (GTZ)		進路選択肢	
		進学	就職
Sゾーン (S1~S3)		難関大学合格レベル	上場企業などの大手の 就職筆記試験や 公務員試験に 対応できるレベル
Aゾーン (A1~A3)		国立大学合格レベル	
Bゾーン	B1	公立大学合格レベル	
	B2	国公立大の推薦入試に合格可能 で、私立大の一般入試では、選 択肢の広がるレベル	
	B3		
Cゾーン	C1	私大・短大・専門学校の 一般入試に対応可能なレベル	就職筆記試験における 平均的評価レベル
	C2		
	C3		
Dゾーン	D1	上級学校に進学することは できるが、授業のついていけず、 苦勞する学生が多い	就職試験で必要な最低限のラインは クリアしているが、仕事をする上で 支障が出ることが多い
	D2		
	D3		筆記試験が課される企業では 不合格になることが多い